

さいかいは、私です

中 二

「ねえ、さいかいさん。」

私を呼んでいるようです。ところで「さいかい」を漢字にするならどのような漢字が浮かびますか。正解は、「西海」。私の名字です。簡単な漢字ですが、読みづらいかもしれません。

これは、小学校高学年のときのことです。後ろから呼んでいるのは、同じクラスの友人です。でも、この友人は、私を呼ぶ声を音で表すと「さいかいさん」と呼び、文字で表すと「最下位さん」と呼んでいるようです。西海とは、「からかわれる名字」なのです。私を呼んでも、私が呼ばれても、おもしろいといった感じでした。名字のからかいは、小学校の間、短い流行を何度も繰り返しました。私の父も学校に通っていたころから、からかわれたそうです。私が小学校に入学する前、からかわれるかもしれないと、父から聞いていました。だから初めて名字をからかわれたとき、悲しさはありませんでした。ただし、腹が立ち、数回は言い

返し、あとは聞き流しました。からかわれても相手にしない、長く続かない、と父に助言されていたからだと思います。

先日、小学生の弟にも、ついに名字のからかひがありました。話を聞いているとやはり父が話していた通りのからかひ方でした。私と同じです。そして弟も父から入学する前に話を聞いています。きつと弟も私と同じで悲しくないだろう、また、とても優しい性格の弟ですが、少し言い返したかなと思えました。でも、弟は悲しくて何も言い返せなかったそうです。そのとき、急に何かを思い出した感じがしました。「悲しい」が、当たり前的情感なのです。私と弟は、父から話を聞くことで、起こり得る悲しさを事前に知り、予想し、なるべく心に傷を負わないように受け流す術を学んでいたのではないのでしょうか。弟は、あと何回、からかひを繰り返されるのか。私が止めてあげたいです。いつから「西海」は「最下位」とからかわれるようになってしまったのか。そんなことを思っています。

からかひの始まりを知る必要はなく、からかわれる必要もありません。親族でもからかわれずに

済む人もいます。しかし、高い確率で、からかわれるのが事実です。祖父も名字のからかいがあったそうです。西海の家系では「名字のからかいが起り得る」と親から子へ、子から孫へ引き継がれていくものになり始めています。全く引き継ぐ必要はないはずなのに。

そこで、「からかわれる名字」について、調べてみました。名字の例があり、いじめと認識されている事例もありました。特に気になった事例は「からかわれる名字」を理由に名字の変更を考えたというものでした。確かに、名字の変更は可能です。家庭裁判所で氏の変更許可の申し立てを行います。審理され、やむを得ない事由がある場合に変更を許されます。名字とは親から子へ、子から孫へ引き継がれていく大切なものなのに、名字の変更を考えさせてしまうことが、起きているのです。聞き流すことのできない思いの人たちがいるのです。そこまで思わせてしまうことに心が痛みます。では、下の名前、ファーストネームは、どうでしょうか。思い当たるのは、キラキラネームだと思います。珍しい名前のことを言います。特徴は、珍しい名前を理由にからかい、いじめの対象とさ

れることです。例えば、キラキラネームと思われる名前は、どのような名前でしょうか。そう言われると思わず名前を考えてしまいませんか。その行為が、からかいなどに向かわせます。その先は、誰かの心を傷つけ、悲しませることにつながります。名前は、親から子への最初のプレゼントと表現されることがあります。名前には、両親から子供への願いが込められています。他にも、両親の名前の文字や読みの音を引き継いでいることがあります。また、親子、兄弟や姉妹でつながりのある名前になっていることもあります。名字が家系で引き継がれていくことによく似ていると考えられます。

人は、名前を理由に、心に傷を負う必要はありません。悲しいときや苦しいとき、ただ名前を呼んでもらうだけで、温かさや安心などを感じるものであってほしいです。

私は、中学生になってから、一度もからかわれていません。難しいことは考えずに、素直に、からかわれない心地よさの中にいたいのです。誰から呼ばれても、どのように表しても「西海さん」という意味で呼ばれたいです。親しみを込めて、下

の名前で呼んでくれる友人を増やしたいです。そういえば、私の名前も簡単な漢字ですが、読みづらいかもしれません。両親が願いを込めて、考え抜いた大切な私の名前です。弟とつながりがあります。私は、私の名前が大好きです。からかわれなくても名前は大好きです。